



明園

学校だより 第8号
令和5年12月25日発行
札幌市立明園中学校
<https://www.meien-j.sapporo-c.ed.jp>

冊子の背表紙から

教頭 小熊 剛彰

学校には毎日様々な文書やパンフレット類が送られてきます。その中に、ある会社から定期的に送っていた月間誌『PHP』というB6判の小冊子があります。

中学生にもわかりやすく、知っておくと自分の心の持ち方のヒントになるような内容も多いので、かつて私が学級担任だったときの学級通信に、文章を引用させていただいたこともありました。本校では、職員室前の箱にこれまでのバックナンバーを並べ、誰でもいつでも読めるようになっています。

毎号、連載の他にテーマを決めて特集を組み、各界の著名人が文章を寄せています。先日、数十冊あるその冊子の背表紙に書かれている特集の言葉を何気なく眺めていて、そこに、よく使われている言葉があることに気がきました。興味が沸いたので、ここ数年の特集をホームページで調べてみると、いくつかのキーワードが見えてきました。

まず目についたのは、「捨てる」「やめる」という言葉。『捨てる』と人生が好転する！』『捨てる』と人生がラクになる』『やめる』と人生が豊かになる！など。「物事にこだわり続ける」のは、粘り強さや我慢強さといったプラスの面もあるように思えますが、うまくいかない習慣や人間関係に「こだわり続ける」のは辛いものです。ここはきっぱり捨ててみると、気持ちが楽になり、違う景色が見えてくるのでしょうか。「気楽」という言葉も何度か出てきますが、これも物事への執着心が消えた状態なのだと思います。

「習慣」という言葉もよく使われています。「いいことが起きるための小さな『習慣』」というような感じで出てきます。ここで大切なのは、意外に「小さな」という部分であるように思えます。いいことを起こす「習慣」とは、実は「小さな」ことなのではないでしょうか。

また、多く出てくるのが「笑う」です。「笑顔」が人生をいい方に変えてくれるという具合に使われています。他に「楽しむ」などという言葉もよく使われており、これらは関連があるように思えます。どんなことでも「楽しむ」のは、大事なことだと思っています。楽しいから「笑う」。楽しむことができたときに「笑う」という行為になるのです。そして、「笑う」ことで今度は逆に人生を「楽しむ」ことができる。「いいことが起きるための小さな『習慣』」は「笑う」ことなのかもしれません。

最後に挙げたいのは「言葉」という言葉です。これもたくさんの特集の中で使われています。やはり「いい」という修飾語が多く付きます。「いい言葉が心を軽くしてくれる」「いい言葉が人間関係をうまくいかせてくれる」「いい言葉が心を強くする」等々。なにをもって「いい」とするかは難しいのですが、自分にとって、他人にとって「いい言葉」を日々使っていきたいものです。「自分の体は、自分が食べたものでできている」とは、よく言われますが、同じように「自分という存在は、自分が使う言葉でできている」と思っています。心が言葉になって出るように、言葉からつくられる心があるとも思います。今一度、自分がどんな言葉をよく口にしているか振り返ってみるのもいいのではないのでしょうか。

この冊子を編集しているPHP研究所は、松下電器（現在のパナソニック）の創立者である松下幸之助さんが創設したものです。ホームページによると、創刊のねらいを「お互いが身も心も豊かになって、平和で幸福な生活を送る方策を、それぞれの知恵と体験を通して提案し考えあう場として」としています。「幸せ」の形とは人それぞれなのかもしれません。でも、誰もが願っているものであることは間違いありません。

今年も、新しい年を迎えるのにあたって一年を振り返る季節になりました。そんな時期だからこそ、これらの言葉は大きなヒントになると思っています。

2学期のふり返りと冬休みに向けて（終業式の話から）

2学期を振り返って

1年3組 久保 遼太郎

自分の、2学期を振り返ってよかったことは、学年代表としてクラスや学年全体に、授業態度をよくすることや挨拶をそろえるなどの呼びかけを積極的にできたことです。しかし余裕をもって行動できず、授業準備や課題の提出がギリギリになり焦ってしまいました。なので、早めに課題に取り組む、時計をよく見るなどのことをして、改善していきたいです。

冬休みは、宿題や日記などに早めに取り組んでいきたいです。冬休みが明けて3か月経つと2年生になり、初めての後輩ができます。その後輩たちのお手本になれるように、そして「2年生、カッコいい」と思われるように、普段から周りの人を手伝ったり友達に優しく接したりしたいです。同時に、今のクラスの仲間と過ごせるのも3か月なので、一日一日を大切に過ごしたいです。

2学期を振り返って

2年3組 小林 蒼太郎

2学期は大きな行事がありました。一つ目は学校祭です。普段あまり関わることのない人とクラスの垣根を越えて協力できました。二つ目は、合唱コンクールです。放課後の練習を頑張り、クラスのみんなで協力できました。3年生の合唱は迫力があって、来年度は3年生のように頑張ります。次に2学年全体の反省です。学年で取り組みましたが、2分前着席がまだ徹底できていないので、呼びかけていきたいです。

そして、個人の反省です。定期テストでの各教科の得点のバランスが悪くなってしまったので、冬休みは苦手な教科を重点的に勉強していきたいです。また、スマホを使いすぎてしまうことがあったので、使用時間を減らし、メリハリのある生活を心がけていきます。野球部では、チームの雰囲気が良くなるような声かけや、自分自身のレベルアップを目指して、1試合でも多く勝てるようなチームにしたいです。

2学期の反省と3学期に向けて

3学3組 大久保 星来

私は2学期を終えて、普段の学校生活についていくつかの反省点があると感じています。

まず、授業中の集中力のなさです。授業中に授業内容のことで友達と確認をしていると、話すのに夢中になり先生の話聞いておらず、全く内容を理解できなかった、ということがありました。次に、時間を見て行動できていないところです。休み時間に授業準備をせずに友達と話しており、授業開始直前になって時間に気づき、急いで着席し、焦って授業準備をすることもありました。そして学級の仕事を「誰かがやってくれるから、やらなくていいや」と他人に任せていたこともありました。

これらの反省を踏まえ、3学期では、今まで以上に日常生活に目を向けたり、授業中の会話を最低限におさえたりして、残りわずかの学校生活を、メリハリをつけて過ごしていきたいです。



~~~~~

### 今後の主な行事予定

~~~~~

			12月29日（金）～1月5日（金） 学校閉鎖	1	22	月	3年得点通知表配付 常局会
1	15	月	3学期始業式	1	24	水	生徒協議会
1	16	火	3年3学期テスト 常局会	1	25	木	常局会
1	17	水	生徒協議会 議長講習会	1	30	火	会議日 完全下校 家庭の日

札幌市教育委員会では、全国的な課題となっている教職員の長時間勤務等への対応策として、冬休み期間中において、「冬季休校日」の取組を実施いたします。これに伴い本校では、年末年始の休日と連続して、12月29日（金）～1月5日（金）までを休校日とさせていただきますので、御理解と御協力をお願いいたします。

なお、冬季休校日の取組につきましては、札幌市教育委員会 教職員課労務係（211-3853）にお問い合わせください。

冬休み中の学校への電話連絡は、平日の8：15～16：45の間をお願いいたします。